

大田区政に関する世論調査

平成26年7月実施

(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。

調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成26年12月

大田区 区長政策室 区民の声課

■調査概要

対象者 区内に居住する満20歳以上の男女個人（外国人を含む）

対象数 2,000人

回収数 1,120人

回収率 56.0%

有効回収数 1,119人（電子申請での回答含む）

有効回収率 56.0%

抽出方法 層化二段無作為抽出法

調査方法 郵送調査（回収方法は郵送回収に加え、携帯電話およびパソコンを利用した電子申請からの回答も実施）

■グラフの見方

- ・nはその設問の回答者数を表す。
- ・集計は小数点以下第二位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、合計が100%を越えることがある。

1. 定住性

(1) 居住開始時期

- ★ (2) 定住意向【P2】
- ★ (3) 住みたい理由【P2】
- ★ (4) 住んでいるまちが魅力的か【P3】

2. 暮らしやすさ

- ★ (1) 生活環境の満足度【P4】
- ★ (2) 住んでいるまちの暮らしやすさ【P5】

《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

3. 健康に暮らせるまち

- ★ (1) 食品の安全性についての不安【P5】

4. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

- ★ (1) 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度【P6】
- (2) 「バリアフリー」や「ユニバーサルデザイン」を進めるために必要な区取り組み
- ★ (3) 駅周辺のバリアフリー化【P6】

5. 生涯教育の推進

- ★ (1) この1年間に行った生涯学習【P7】
- (2) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能の活用
- ★ (3) この1年間の運動・スポーツ活動の頻度【P7】

6. 男女平等の推進

- ★ (1) 男女の地位平等【P8】

7. 高齢者虐待相談・通報窓口の周知度

- ★ (1) 高齢者虐待に関する相談窓口の周知度【P8】

《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市》

8. 公園緑地

- ★ (1) 身近な場所で水や緑に親しめると感じているか【P9】

9. 空港臨海部のまちづくり

- ★ (1) 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度【P9】
- (2) 空港臨海部の身近さ

《基本目標3 地域力と行政の連携が
つくる人と地球に優しいまち》

10. 自治会町会等の活動について

- ★ (1) 参加したことのある地域活動【P10】
- ★ (2) ボランティア活動への意欲【P10】

11. 消費者支援

- ★ (1) 「大田区立消費者生活センター」での消費者相談実施の認知度【P11】
- (2) 生活の中で困ったこと
- (3) 相談状況

12. 防災対策（ペットの防災含む）

- ★ (1) 大震災発生時に不安だと思うもの【P11】
- ★ (2) 震災対策の実施状況【P12】
- ★ (3) 住まいの建物が建てられた時期【P12】
- ★ (4) 耐震補強工事の状況【P13】
- (5) 耐震補強工事をしていない理由
- (6) 耐震診断・耐震改修工事の助成制度の認知度
- ★ (7) 力を入れてほしい防災対策【P13】
- ★ (8) 飼育している動物【P14】
- ★ (9) ペットと避難するための準備【P14】

13. 緑化推進・省エネ推進

- ★ (1) エコライフ活動・緑化活動推進のための一部助成の認知度【P15】
- (2) エコライフ活動・緑化活動に関する設備の設置状況

14. 地球環境

- (1) 「生物多様性」の認知度
- ★ (2) 「コアジサシ」の認知度【P15】

15. 清掃・リサイクルの推進

- ★ (1) 紙ごみの分別状況【P16】

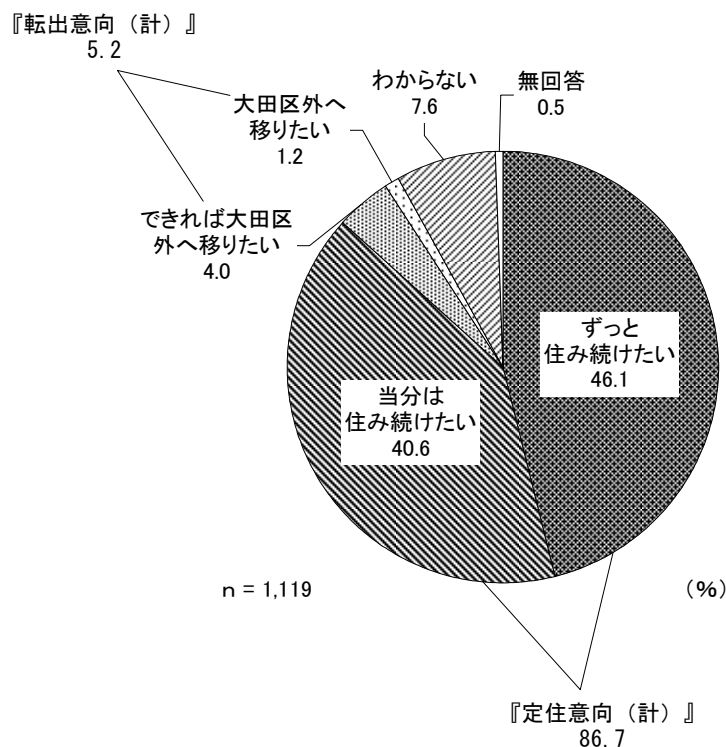
16. 区政への関心と要望

- ★ (1) 区の制度・施策・施設の認知度【P16】
- ★ (2) 区の情報を知るために利用する媒体【P17】
- ★ (3) 区の情報公開【P17】
- (4) 区政への参画状況
- (5) 区政に参加したことがない理由
- ★ (6) 施策要望【P18】

1. 定住性

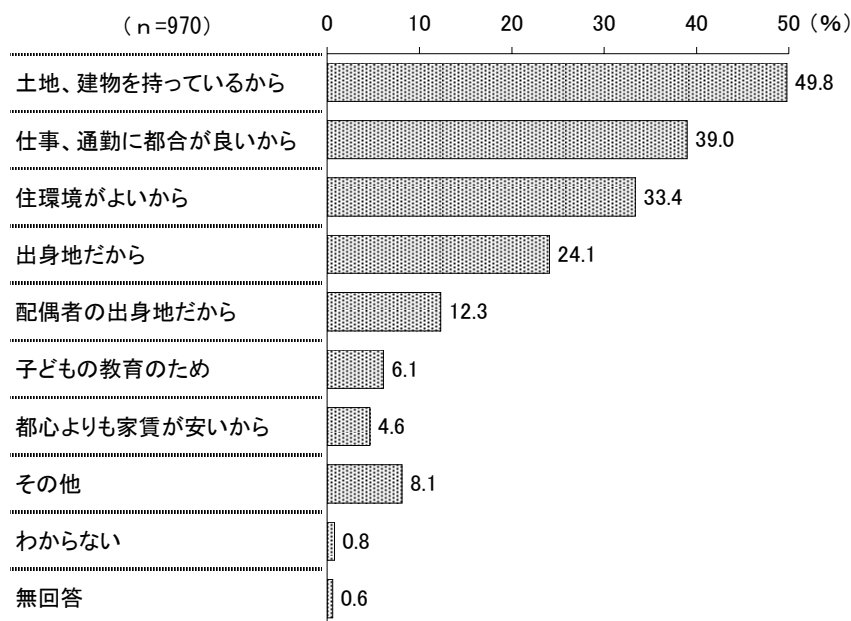
■定住意向・・・『定住意向（計）』は9割近く

定住意向を聞いたところ、「ずっと住みたい」（46.1%）が4割半ばで最も高く、これに「当分は住みたい」（40.6%）を合わせた『定住意向（計）』（86.7%）は9割近くとなっている。一方、「できれば大田区外へ移りたい」（4.0%）と「大田区外へ移りたい」（1.2%）を合わせた『転出意向（計）』（5.2%）は1割未満となっている。



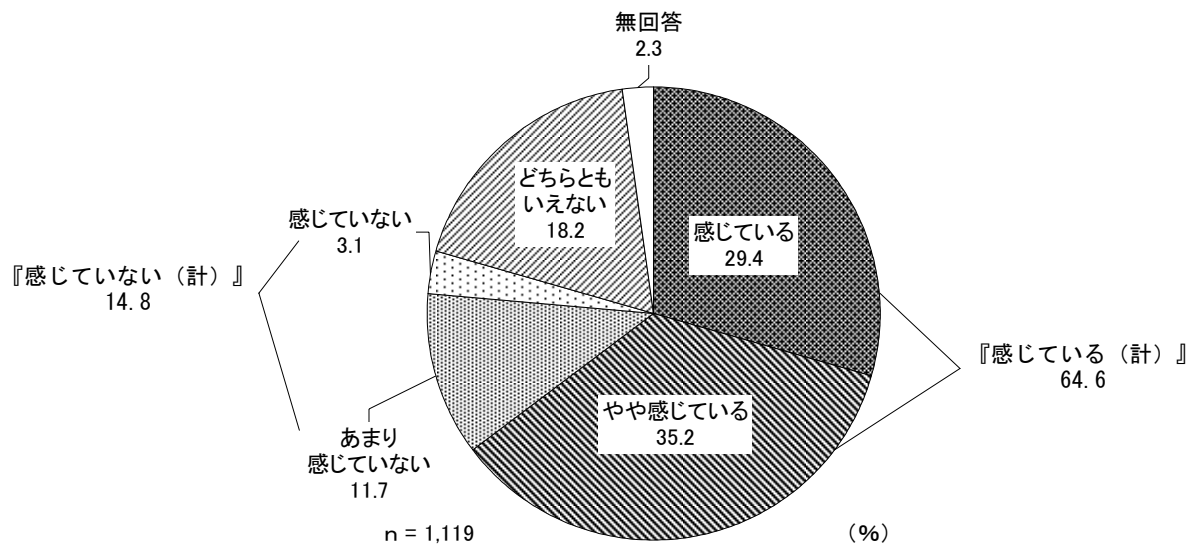
■住みたい理由・・・「土地、建物を持っているから」が5割

これからも大田区に「ずっと住みたい」、「当分は住みたい」と答えた人（970人）に、その理由を聞いたところ、「土地、建物を持っているから」（49.8%）が5割で最も高く、次いで「仕事、通勤に都合が良いから」（39.0%）、「住環境がよいから」（33.4%）、「出身地だから」（24.1%）、「配偶者の出身地だから」（12.3%）などの順になっている。



■住んでいるまちが魅力的か・・・『感じている（計）』は6割半ば

住んでいるまちが魅力的であると感じているか聞いたところ、「やや感じている」（35.2%）が3割半ばで最も高く、これに「感じている」（29.4%）を合わせた『感じている（計）』（64.6%）は6割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」（11.7%）と「感じていない」（3.1%）を合わせた『感じていない（計）』（14.8%）は1割半ばとなっている。

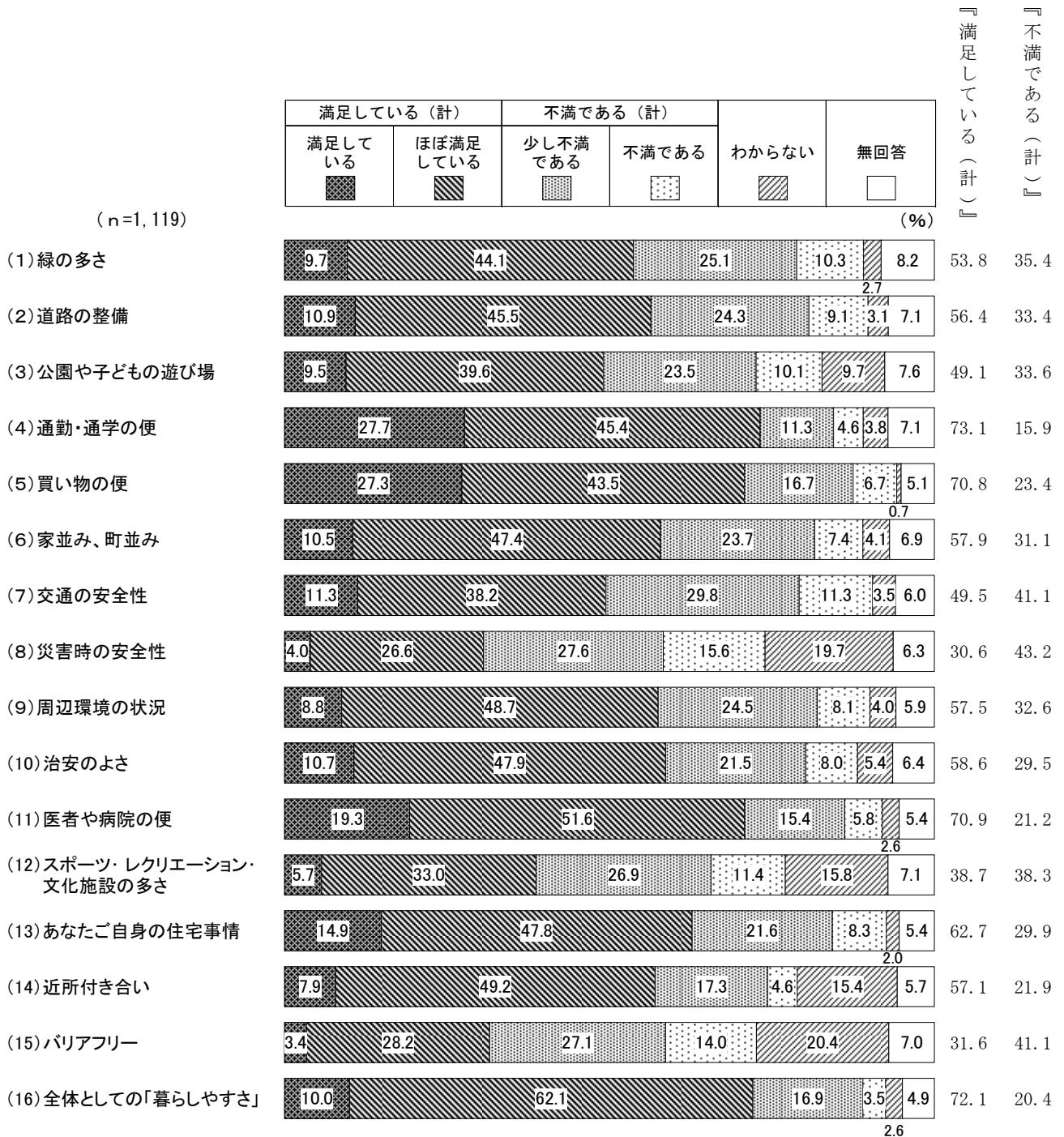


2. 暮らしやすさ

■生活環境の満足度

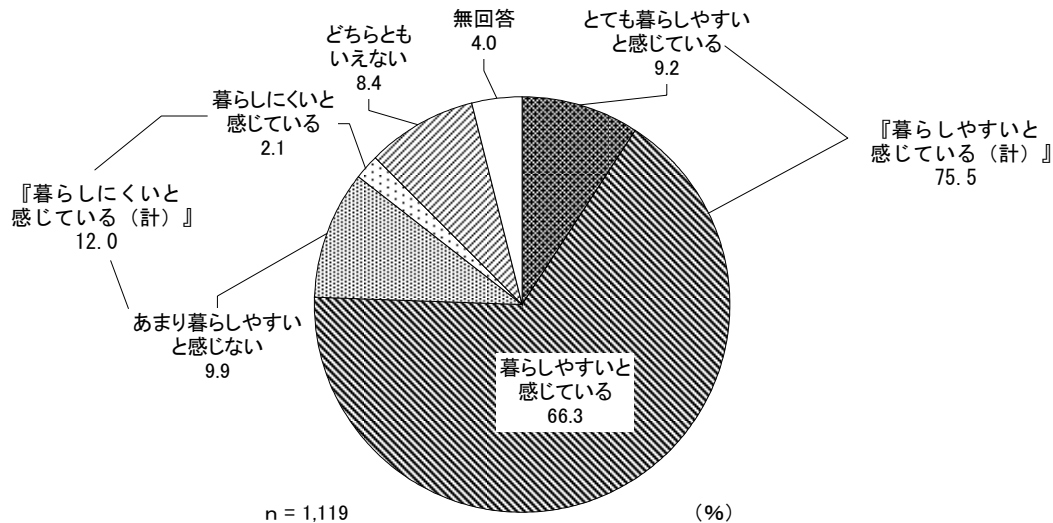
・・・「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせた『満足している（計）』は“通勤・通学の便”と“全体としての「暮らしやすさ」”で7割を超える

住んでいるまちの生活環境について聞いたところ、『満足している（計）』は“通勤・通学の便”（73.1%）と“全体としての「暮らしやすさ」”（72.1%）で7割を超え高くなっている。一方、「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満である（計）』は“災害時の安全性”（43.2%）、“交通の安全性”と“バリアフリー”（ともに41.1%）で4割を超え高くなっている。



■住んでいるまちの暮らしやすさ・・・『暮らしやすいと感じている（計）』は7割半ば

現在住んでいるまちの暮らしやすさについて聞いたところ、「暮らしやすいと感じている」（66.3%）が6割半ばで最も高く、これに「とても暮らしやすいと感じている」（9.2%）を合わせた『暮らしやすいと感じている（計）』（75.5%）は7割半ばとなっている。また、「あまり暮らしやすいと感じない」（9.9%）と「暮らしにくいと感じている」（2.1%）を合わせた『暮らしにくいと感じている（計）』（12.0%）は1割を超えている。

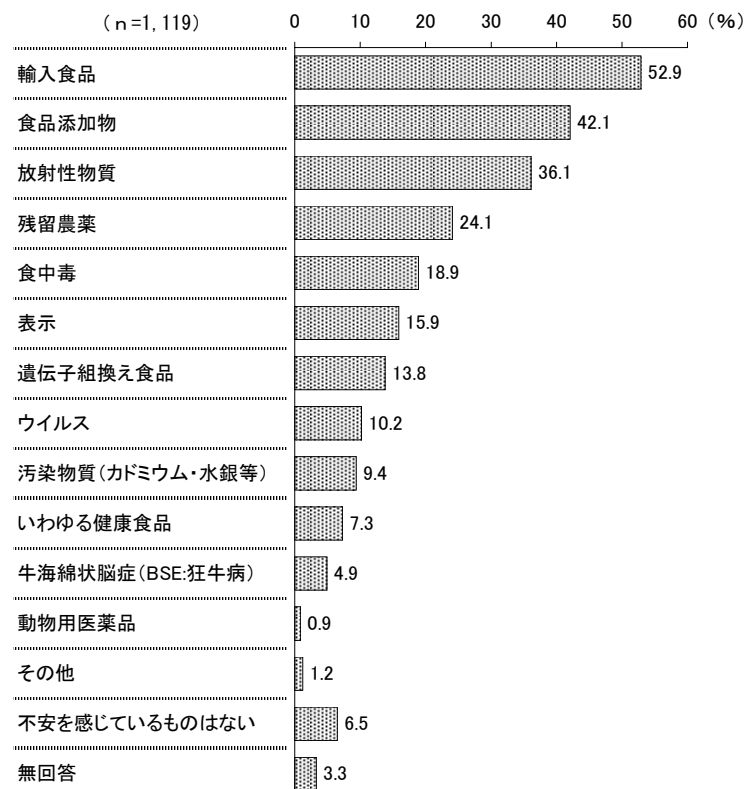


《基本目標1 生涯を健やかに安心していきいきと暮らせるまち》

3. 健康に暮らせるまち

■食品の安全性についての不安・・・『輸入食品』が5割を超える

食品の安全性について不安を感じているものがあるか聞いたところ、「輸入食品」（52.9%）が5割を超え最も高く、次いで「食品添加物」（42.1%）、「放射性物質」（36.1%）、「残留農薬」（24.1%）、「食中毒」（18.9%）などの順になっている。



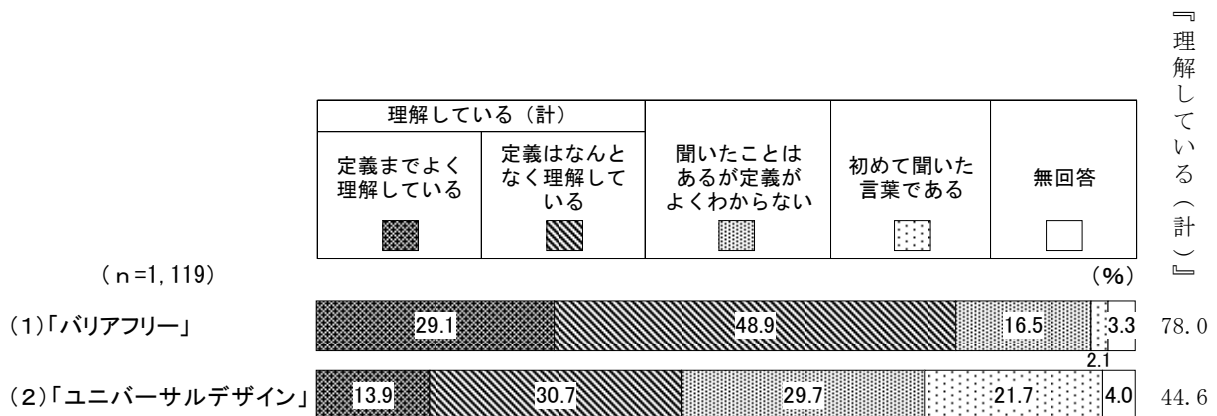
4. バリアフリー・ユニバーサルデザイン

■ 「バリアフリー」、「ユニバーサルデザイン」の認知度

・・・『理解している（計）』は「バリアフリー」が8割近く、「ユニバーサルデザイン」が4割半ば

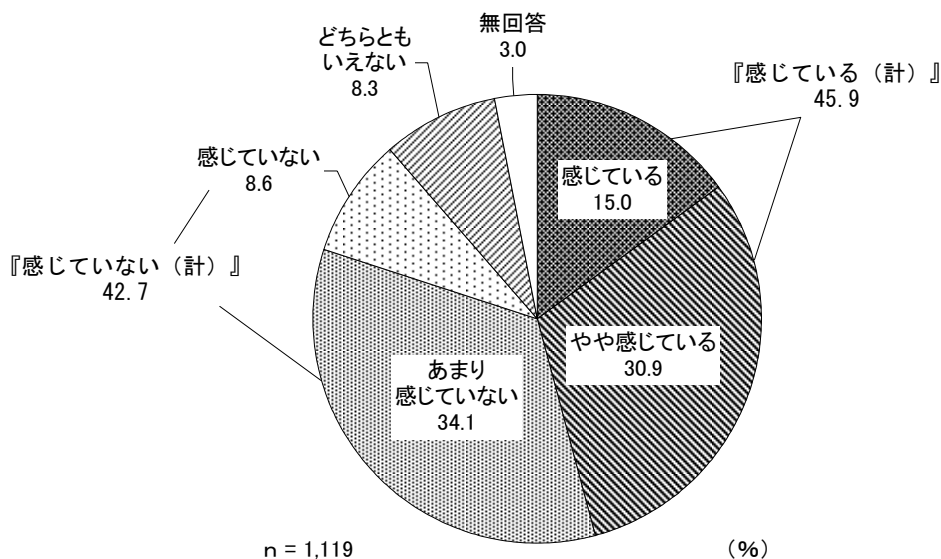
「バリアフリー」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」（48.9%）が5割近くで最も高く、これに「定義までよく理解している」（29.1%）を合わせた『理解している（計）』（78.0%）は8割近くとなっている。

「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っているか聞いたところ、「定義はなんとなく理解している」（30.7%）が約3割で最も高く、これに「定義までよく理解している」（13.9%）を合わせた『理解している（計）』（44.6%）は4割半ばとなっている。



■ 駅周辺のバリアフリー化・・・『感じている（計）』は4割半ば

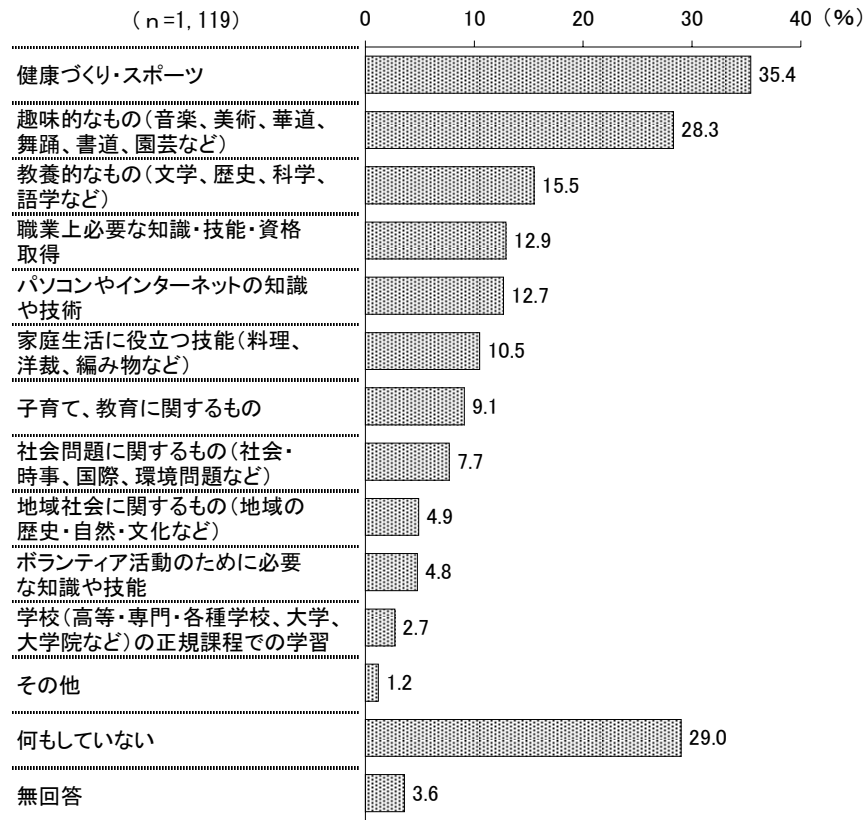
駅周辺のバリアフリー化について聞いたところ、「感じている」（15.0%）と「やや感じている」（30.9%）を合わせた『感じている（計）』（45.9%）は4割半ばとなっている。一方、「あまり感じていない」（34.1%）と「感じていない」（8.6%）を合わせた『感じていない（計）』（42.7%）は4割を超えている。



5. 生涯教育の推進

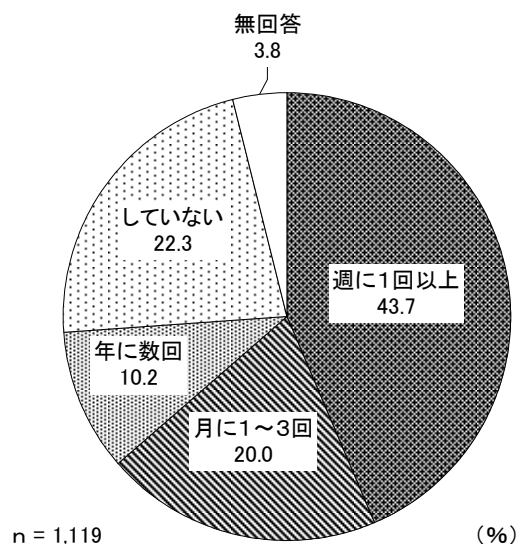
■この1年間に行った生涯学習・・・「健康づくり・スポーツ」は3割半ば

この1年間に行った生涯学習を聞いたところ、「健康づくり・スポーツ」(35.4%)が3割半ばで最も高く、次いで「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、園芸など)」(28.3%)、「教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)」(15.5%)などの順になっている。一方、「何もしていない」(29.0%)は約3割となっている。



■この1年間の運動・スポーツ活動の頻度・・・「週に1回以上」が4割を超える

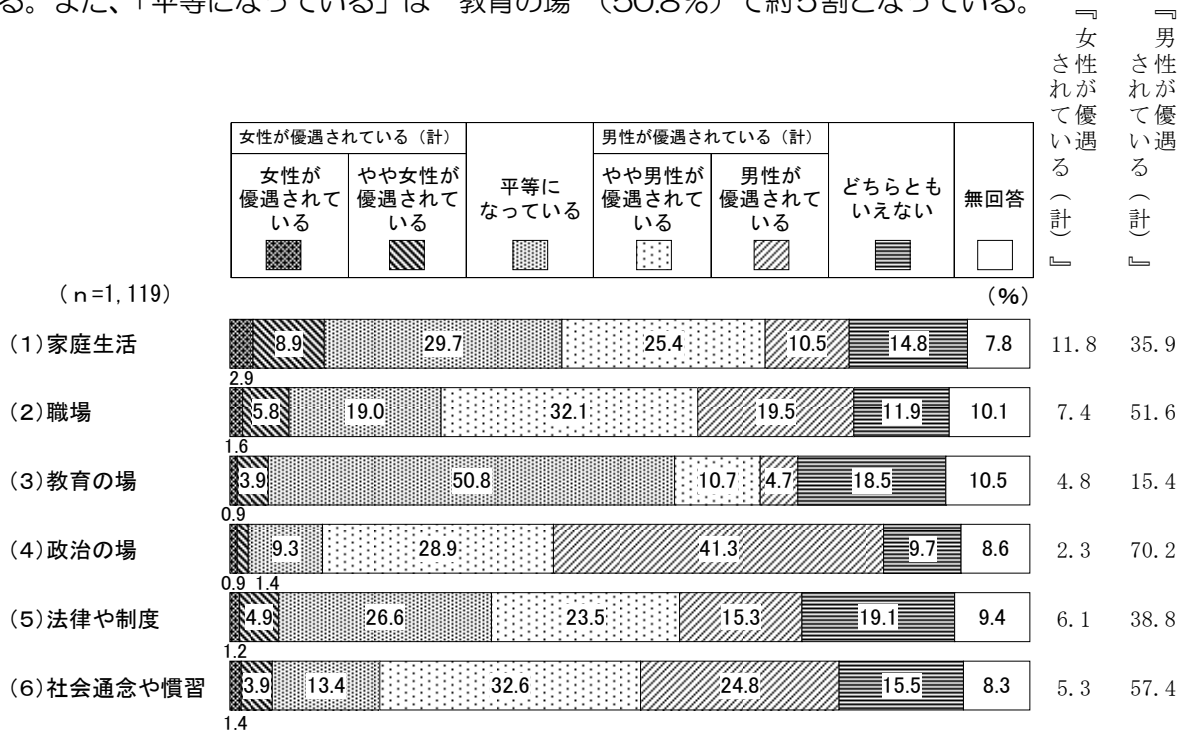
この1年間の運動・スポーツ活動の頻度を聞いたところ、「週に1回以上」(43.7%)が4割を超え最も高く、次いで「月に1～3回」(20.0%)、「年に数回」(10.2%)となっている。一方、「していない」(22.3%)は2割を超えている。



6. 男女平等の推進

- 男女の地位平等・・・『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”で1割を超える
『平等になっている』は“教育の場”で約5割
『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”で7割

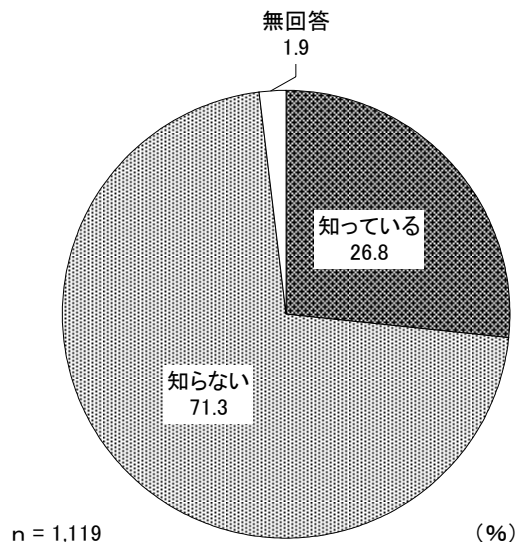
男女の地位について聞いたところ、「女性が優遇されている」と「やや女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』は“家庭生活”（11.8%）で1割を超えている。一方、「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』は“政治の場”（70.2%）で7割、“社会通念や慣習”（57.4%）と“職場”（51.6%）で5割台となっている。また、「平等になっている」は“教育の場”（50.8%）で約5割となっている。



7. 高齢者虐待相談・通報窓口の周知度

- 高齢者虐待に関する相談窓口の周知度・・・『知っている』は3割近く

区内の高齢者虐待に関する相談や通報の窓口を知っているか聞いたところ、「知っている」（26.8%）は3割近く、「知らない」（71.3%）が7割を超えている。

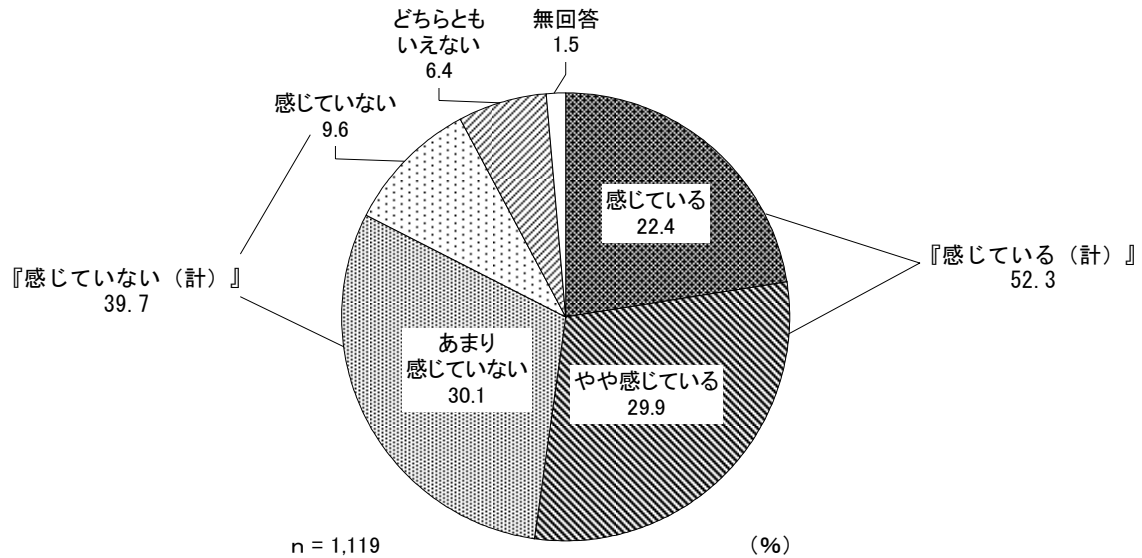


《基本目標2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市》

8. 公園緑地

■身近な場所で水や緑に親しめると感じているか・・・『感じている（計）』が5割を超える

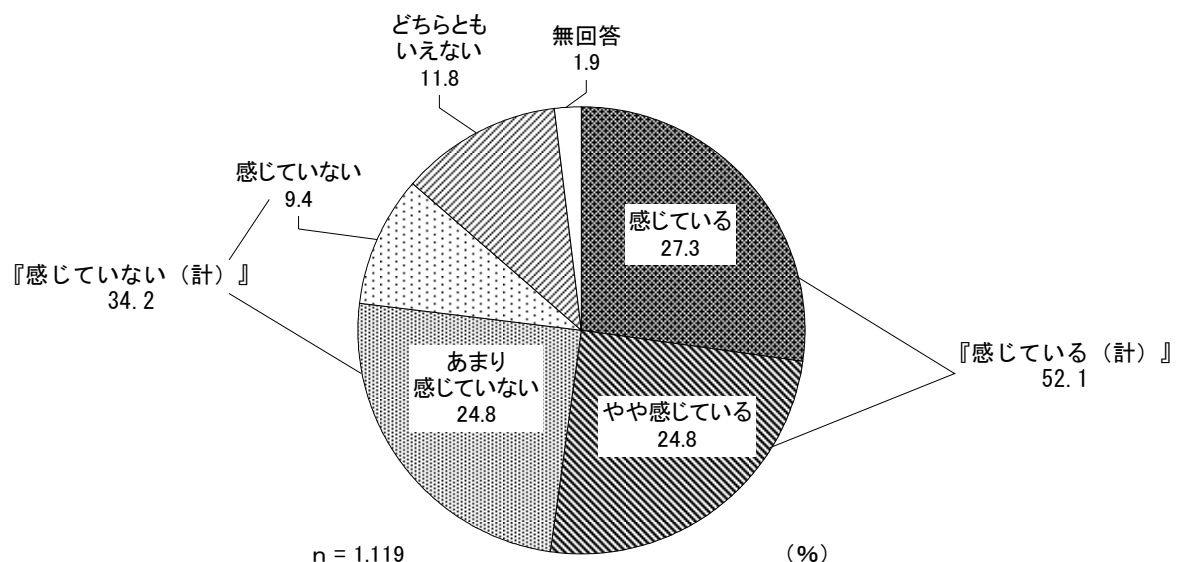
身近な場所で水や緑に親しめると感じているか聞いたところ、「感じている」（22.4%）と「やや感じている」（29.9%）を合わせた『感じている（計）』（52.3%）は5割を超えている。一方、「あまり感じていない」（30.1%）と「感じていない」（9.6%）を合わせた『感じていない（計）』（39.7%）は4割となっている。



9. 空港臨海部のまちづくり

■羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度・・・『感じている（計）』が5割を超える

羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献すると感じるか聞いたところ、「感じている」（27.3%）と「やや感じている」（24.8%）を合わせた『感じている（計）』（52.1%）は5割を超えている。一方、「あまり感じていない」（24.8%）と「感じていない」（9.4%）を合わせた『感じていない（計）』（34.2%）は3割半ばとなっている。

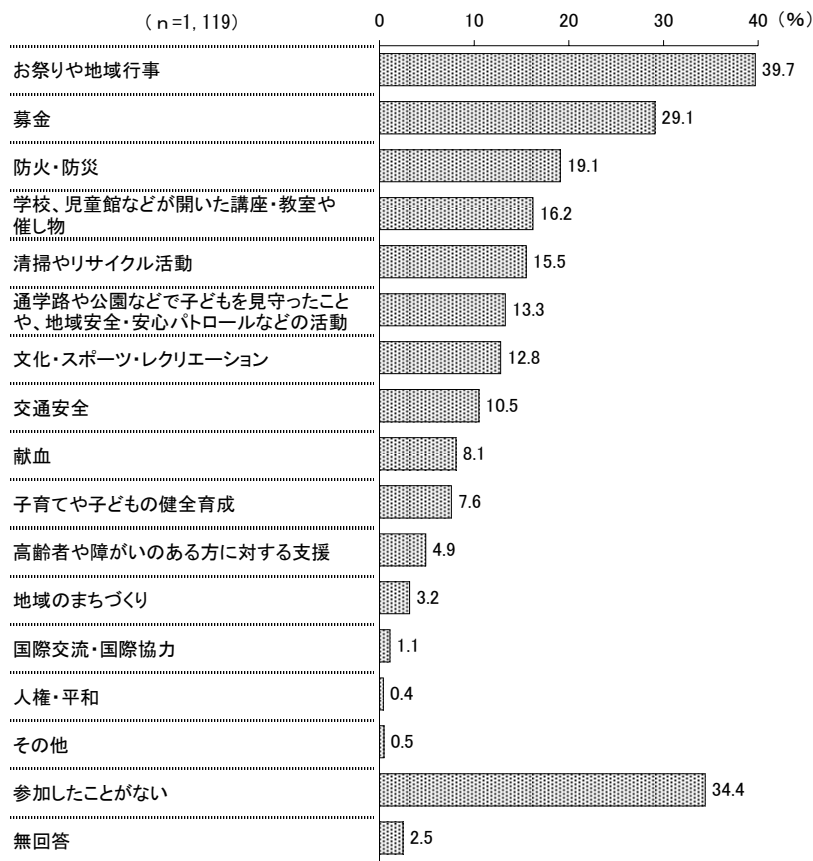


《基本目標3 地域力と行政の連携がつくる人と地球に優しいまち》

10. 自治会町会等の活動について

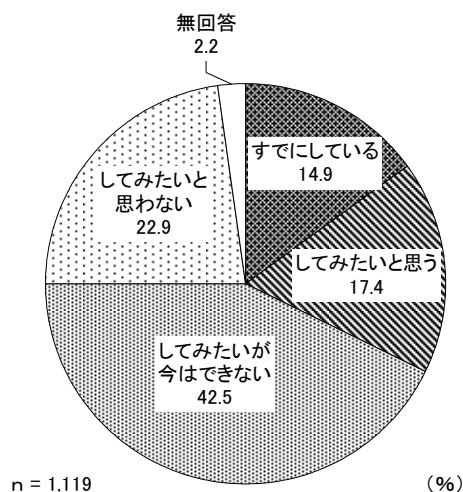
■ 参加したことがある地域活動・・・「お祭りや地域行事」が4割

区内の地域活動に参加したことがあるか聞いたところ、「お祭りや地域行事」(39.7%)が4割で最も高く、次いで「募金」(29.1%)、「防火・防災」(19.1%)、「学校、児童館などが開いた講座・教室や催し物」(16.2%)、「清掃やリサイクル活動」(15.5%)などの順になっている。一方、「参加したことがない」(34.4%)は3割半ばとなっている。



■ ボランティア活動への意欲・・・「してみたいが今はできない」が4割を超える

ボランティア活動をしてみたいと思うか聞いたところ、「すでに行っている」(14.9%)は1割半ば、「してみたいと思う」(17.4%)は2割近く、「してみたいが今はできない」(42.5%)が4割を超えている。一方、「してみたいと思わない」(22.9%)は2割を超えている。

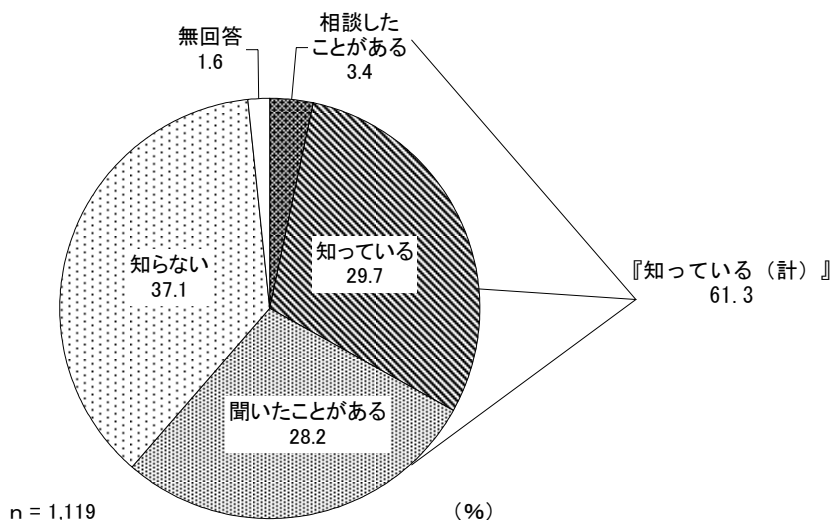


11. 消費者支援

■「大田区立消費者生活センター」での消費者相談実施の認知度

・・・『知っている（計）』が6割を超える

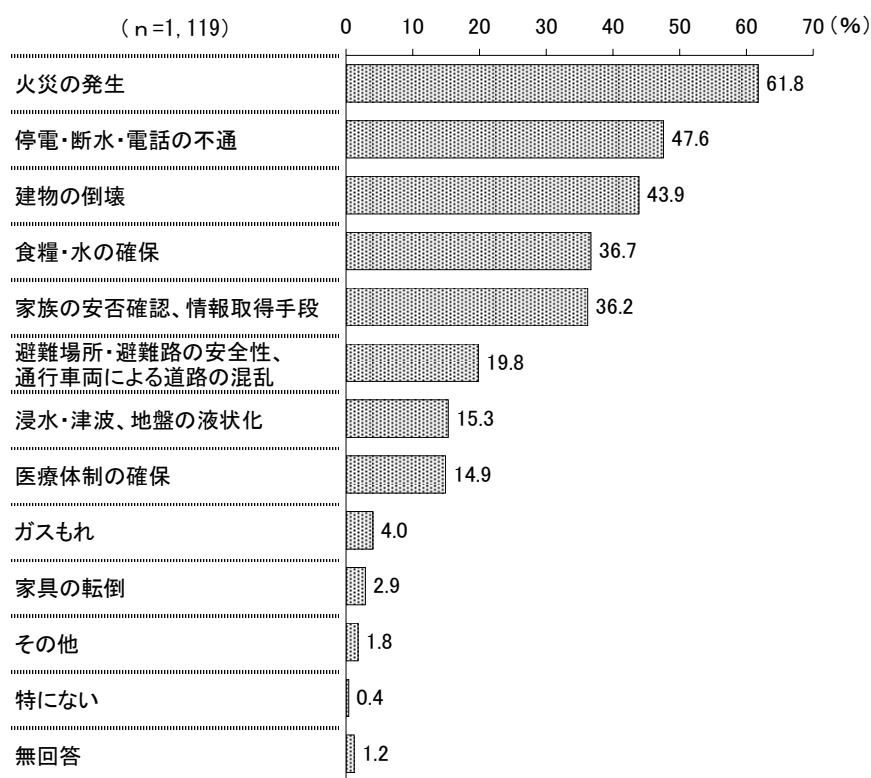
「大田区立消費者生活センター」で、各種消費者相談を行っていることを知っているか聞いたところ、「相談したことがある」（3.4%）、「知っている」（29.7%）、「聞いたことがある」（28.2%）を合わせた『知っている（計）』（61.3%）は6割を超えている。一方、「知らない」（37.1%）は4割近くとなっている。



12. 防災対策（ペットの防災含む）

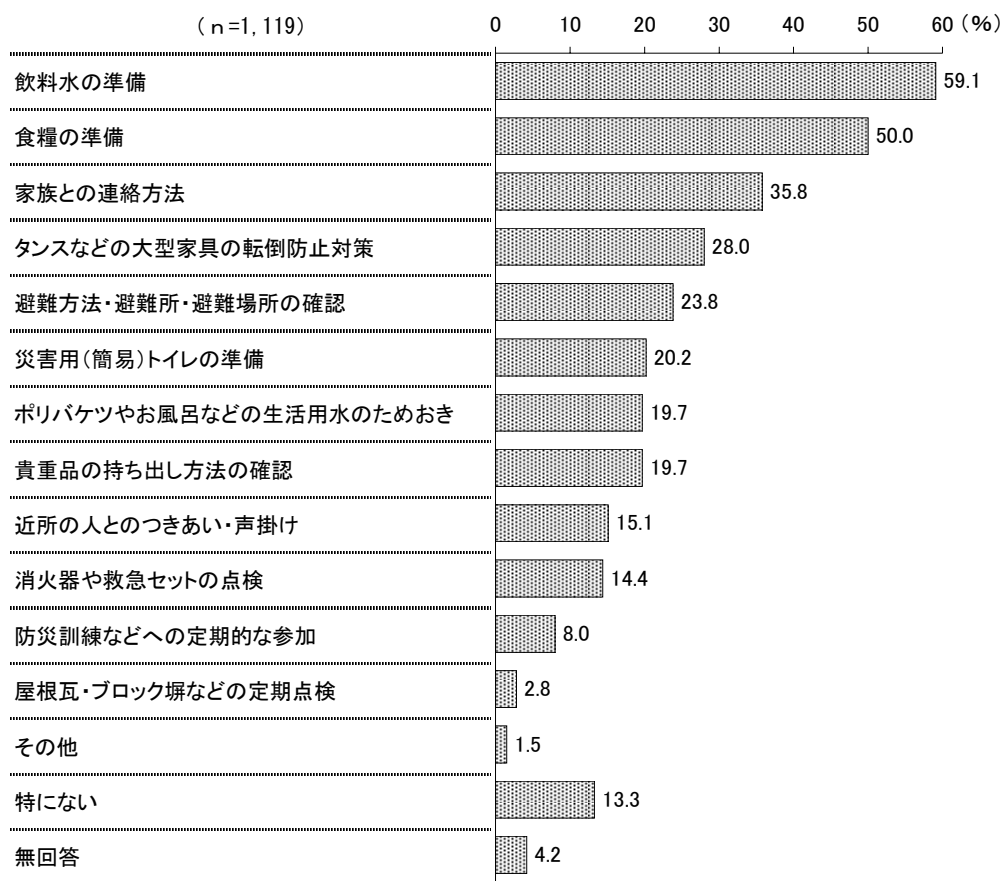
■大震災発生時に不安だと思うもの・・・「火災の発生」が6割を超える

東京に大震災が発生した場合、特に不安だと思うものを聞いたところ、「火災の発生」（61.8%）が6割を超え最も高く、次いで「停電・断水・電話の不通」（47.6%）、「建物の倒壊」（43.9%）、「食糧・水の確保」（36.7%）などの順になっている。



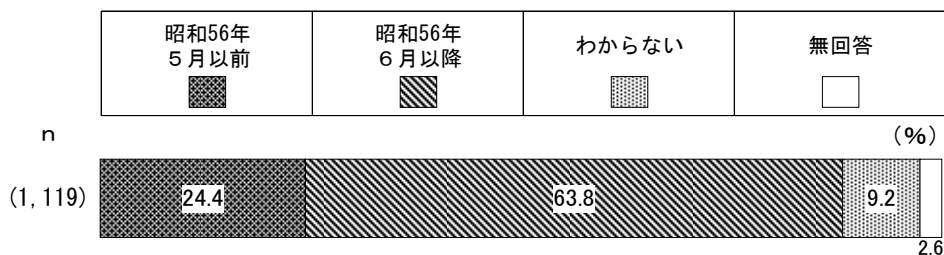
■震災対策の実施状況・・・「飲料水の準備」が約6割

大地震に備えて普段から特に心がけていることを聞いたところ、「飲料水の準備」(59.1%)が約6割で最も高く、次いで「食糧の準備」(50.0%)、「家族との連絡方法」(35.8%)、「タンスなどの大型家具の転倒防止対策」(28.0%)、「避難方法・避難所・避難場所の確認」(23.8%)などの順になっている。



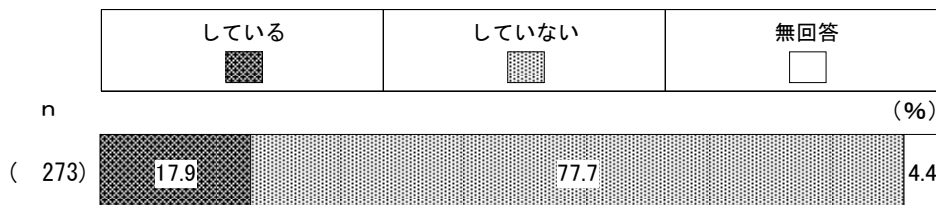
■住まいの建物が建てられた時期・・・「昭和56年6月以降」が6割を超える

住まいの建物が建てられた時期を聞いたところ、「昭和56年5月以前」(24.4%)は2割半ば、「昭和56年6月以降」(63.8%)が6割を超えている。



■耐震補強工事の状況・・・「していない」が8割近く

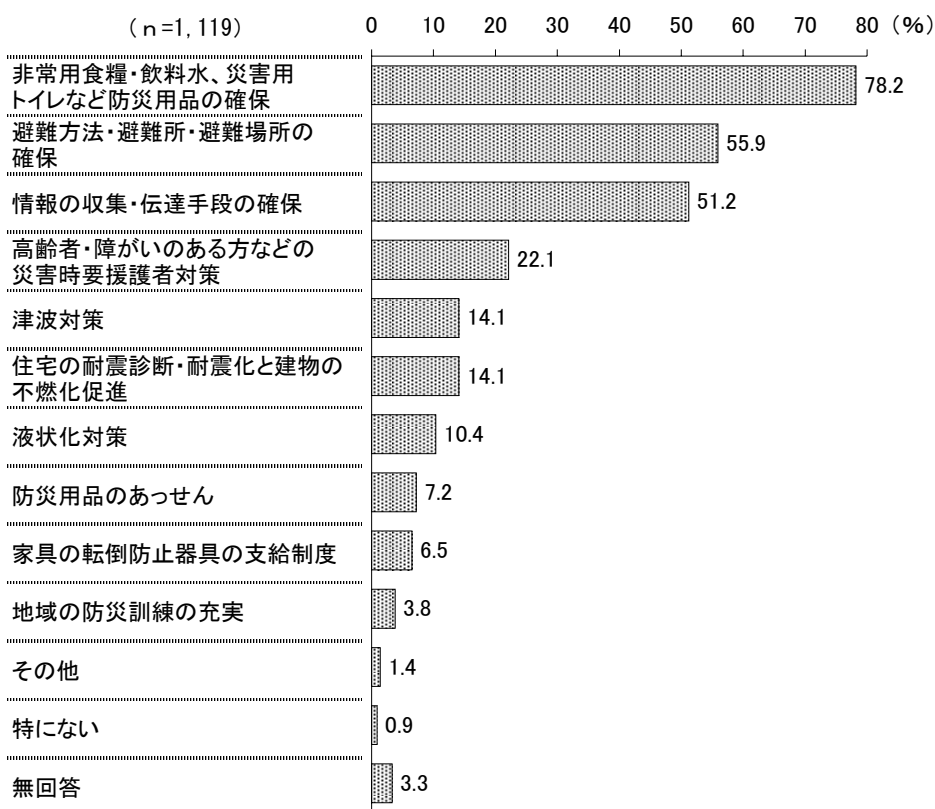
「昭和 56 年5月以前」に建てられた建物に住んでいると答えた人（273 人）に、耐震補強工事を行っているか聞いたところ、「している」（17.9％）は2割近く、「していない」（77.7％）が8割近くとなっている。



■力を入れてほしい防災対策

・・・「非常用食糧・飲料水、災害用トイレなど防災用品の確保」が8割近く

大地震の際の防災対策として、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「非常用食糧・飲料水、災害用トイレなど防災用品の確保」（78.2％）が8割近くで最も高く、次いで「避難方法・避難所・避難場所の確保」（55.9％）、「情報の収集・伝達手段の確保」（51.2％）、「高齢者・障がいのある方などの災害時要援護者対策」（22.1％）などの順になっている。

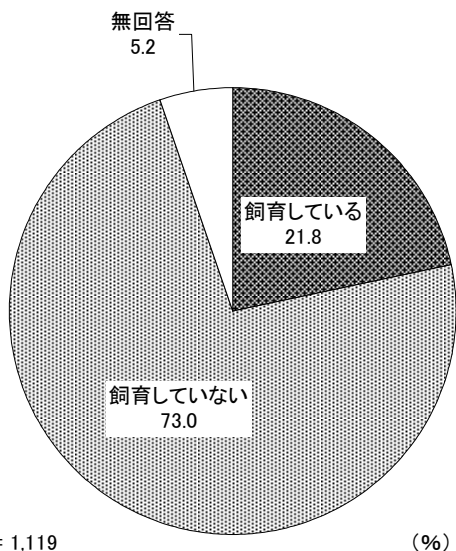


■飼育している動物・・・「飼育している」は2割を超える

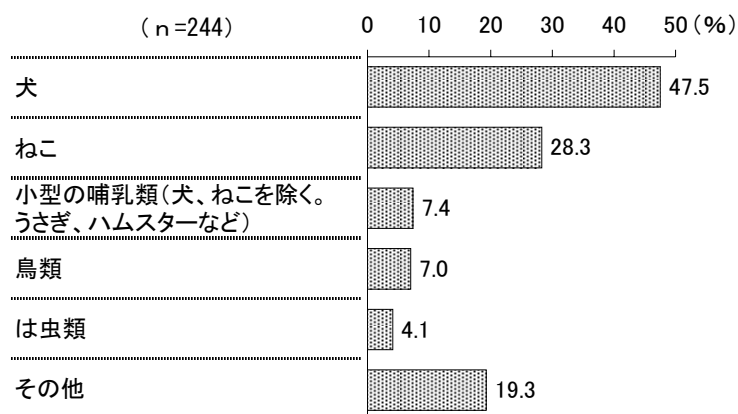
動物の飼育状況を聞いたところ、「飼育している」(21.8%)は2割を超え、「飼育していない」(73.0%)が7割を超えている。

「飼育している」人(244人)の飼育している動物をみると、「犬」(47.5%)が5割近くと最も高く、次いで「ねこ」(28.3%)、「小型の哺乳類(犬、ねこを除く。うさぎ、ハムスターなど)」(7.4%)、「鳥類」(7.0%)などの順になっている。「その他」への回答として「金魚」「カメ」などがあげられている。

<動物の飼育状況>



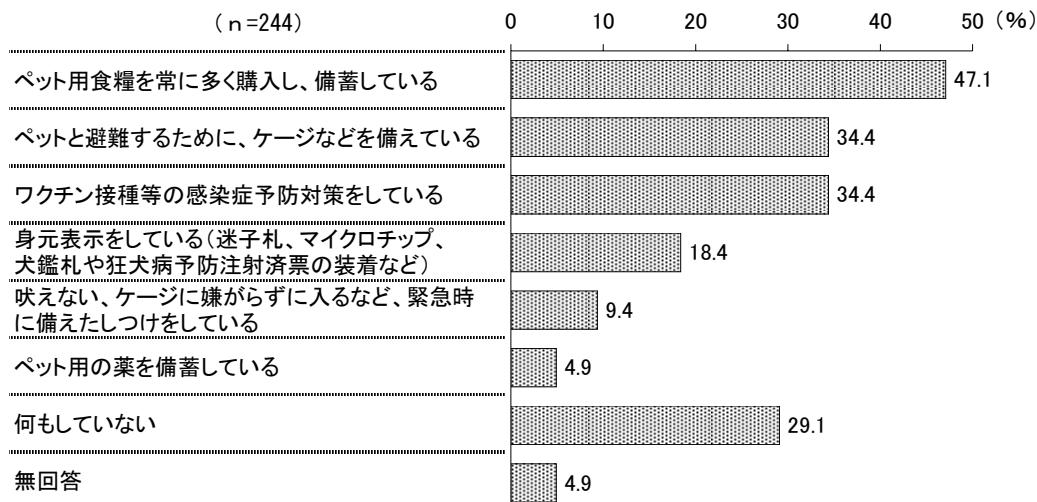
<飼育している動物>



■ペットと避難するための準備

・・・「ペット用食糧を常に多く購入し、備蓄している」が5割近く

「動物を飼育している」と答えた人(244人)に、ペットと避難するための準備として、どのような取り組みをしているか聞いたところ、「ペット用食糧を常に多く購入し、備蓄している」(47.1%)が5割近くで最も高く、次いで「ペットと避難するために、ケージなどを備えている」と「ワクチン接種等の感染症予防対策をしている」(ともに34.4%)、「身元表示をしている(迷子札、マイクロチップ、犬鑑札や狂犬病予防注射済票の装着など)」(18.4%)、「吠えない、ケージに嫌がらずに入るなど、緊急時に備えたしつけをしている」(9.4%)などの順になっている。一方、「何もしていない」(29.1%)は約3割となっている。

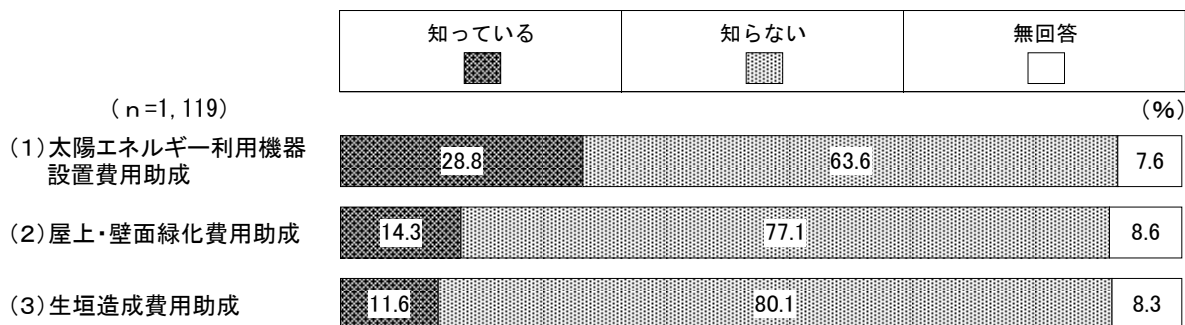


13. 緑化推進・省エネ推進

■エコライフ活動・緑化活動推進のための一部助成の認知度

・・・「知っている」は“太陽エネルギー利用機器設置費用助成”で3割近く

エコライフ活動・緑化活動を推進するにあたり、工事費等の一部費用を助成する制度を知っているか聞いたところ、「知っている」は“太陽エネルギー利用機器設置費用助成”（28.8%）で3割近く、“屋上・壁面緑化費用助成”（14.3%）で1割半ば、“生垣造成費用助成”（11.6%）で1割を超えている。



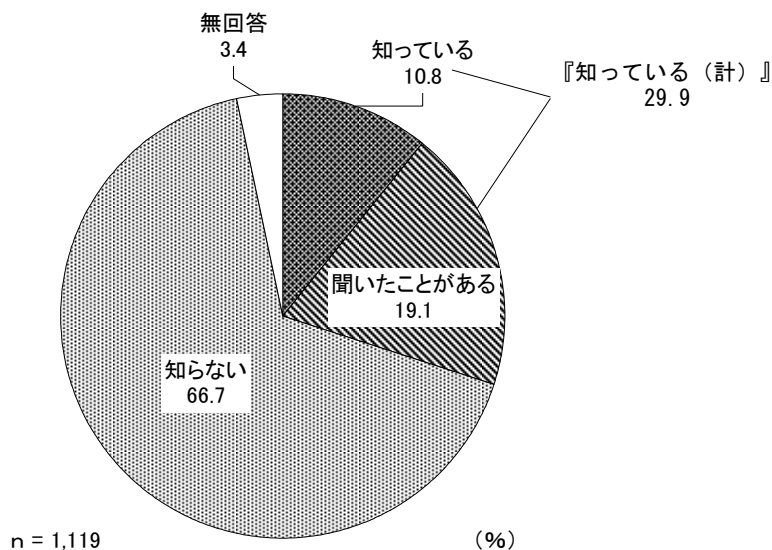
14. 地球環境

■「コアジサシ」の認知度・・・『知っている（計）』は3割

「コアジサシ」を知っているか聞いたところ、「知っている」（10.8%）と「聞いたことがある」（19.1%）を合わせた『知っている（計）』（29.9%）は3割となっている。一方、「知らない」（66.7%）が7割近くとなっている。

※1 「コアジサシ」とは、日本には夏鳥として渡ってきて、海岸の砂浜や河川の河原・中州でコロニーと呼ばれる集団を作り、繁殖します。環境省レッドリスト※2では、「絶滅危惧Ⅱ類（VU）」に指定されています。

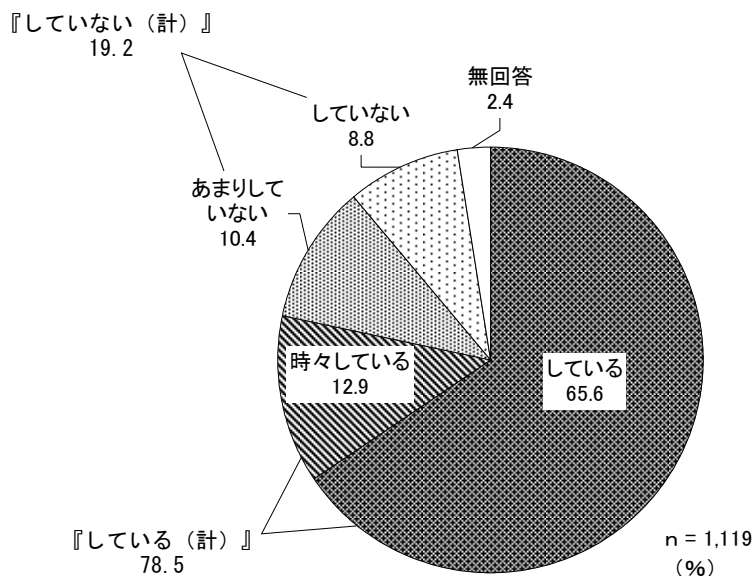
※2 「環境省レッドリスト」とは、環境省が整理した保護が必要な生物のリスト。危険度が高い順に EX、EW、CR、VU、NT、DD、LP の7ランクで評価。



15. 清掃・リサイクルの推進

■紙ごみの分別状況・・・『している(計)』が8割近く

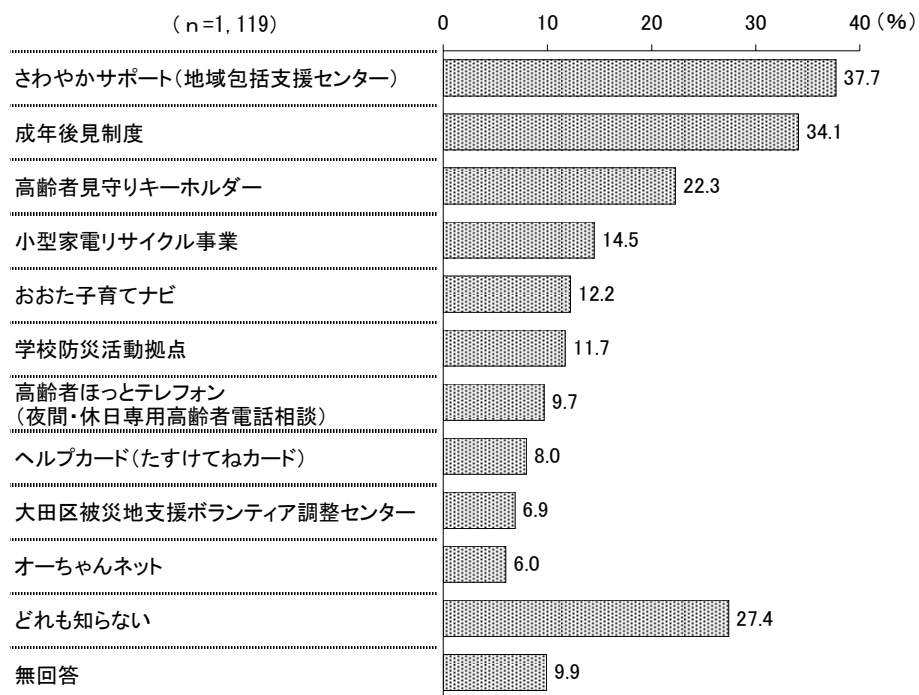
家庭で資源化できる紙ごみの分別をしているか聞いたところ、「している」(65.6%)が6割半ばで最も高く、これに「時々している」(12.9%)を合わせた『している(計)』(78.5%)は8割近くとなっている。一方、「あまりしていない」(10.4%)と「していない」(8.8%)を合わせた『していない(計)』(19.2%)は約2割となっている。



16. 区政への関心と要望

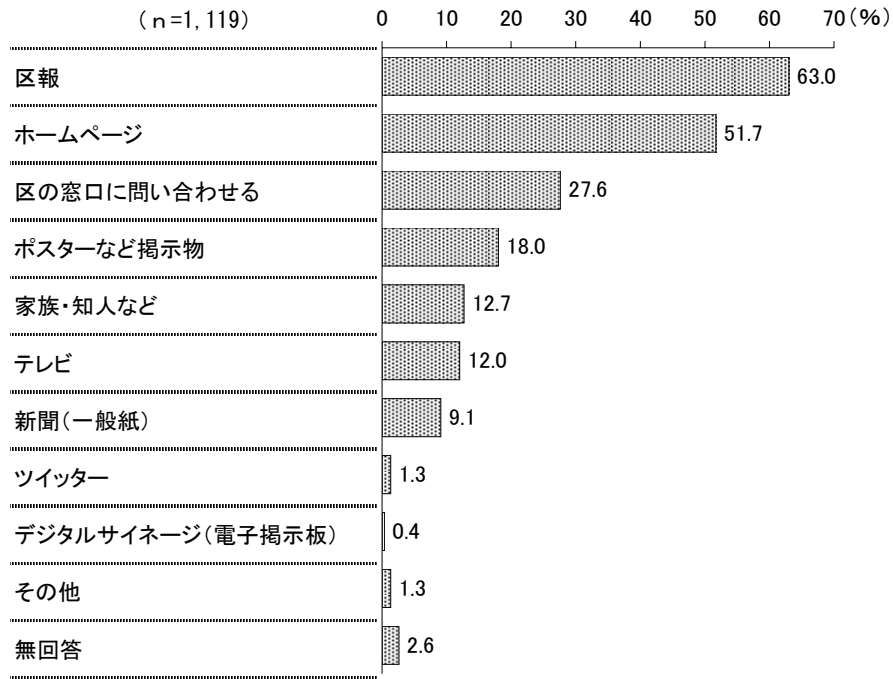
■区の制度・施策・施設の認知度・・・「さわやかサポート(地域包括支援センター)」が4割近く

区の制度、施策、施設について知っているものを聞いたところ、「さわやかサポート(地域包括支援センター)」(37.7%)が4割近くで最も高く、次いで「成年後見制度」(34.1%)、「高齢者見守りキーホルダー」(22.3%)、「小型家電リサイクル事業」(14.5%)、「おおた子育てナビ」(12.2%)などの順になっている。



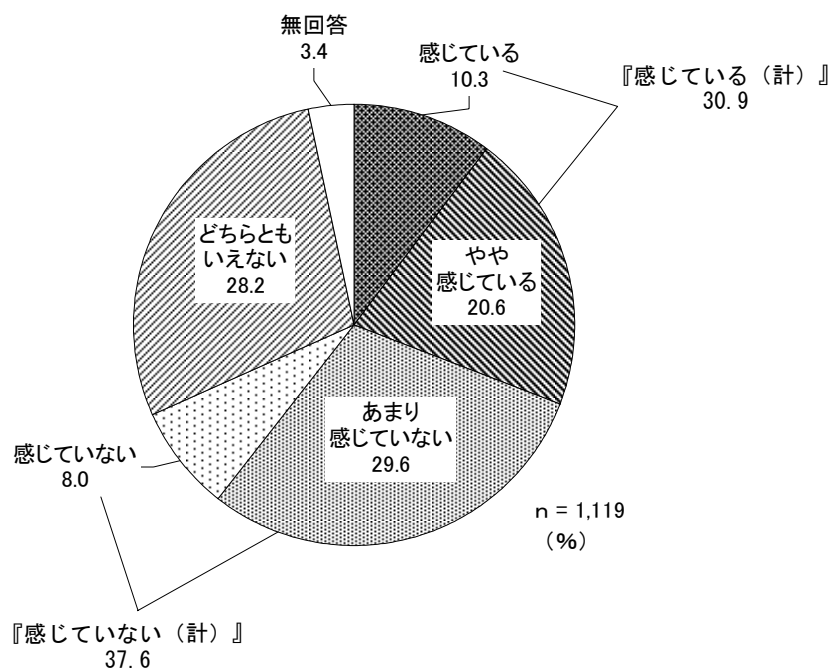
■ 区の情報を知るために利用する媒体・・・「区報」が6割を超える

区の制度、施策、施設などの区の情報を知りたいとき、何を利用するか聞いたところ、「区報」(63.0%)が6割を超え最も高く、次いで「ホームページ」(51.7%)、「区の窓口にお問い合わせる」(27.6%)、「ポスターなど掲示物」(18.0%)、「家族・知人など」(12.7%)などの順になっている。



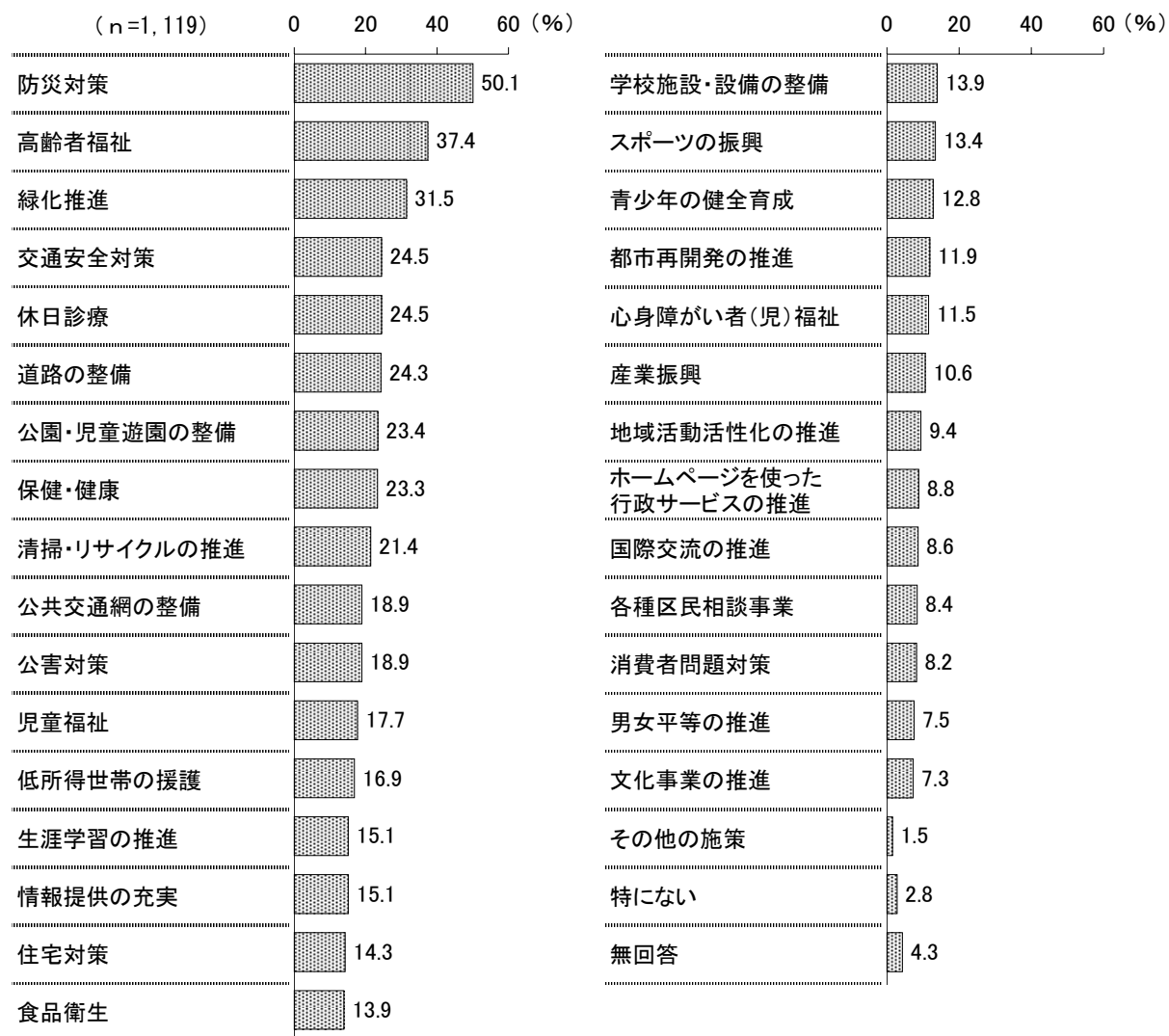
■ 区の情報公開・・・『感じている(計)』は約3割

区政情報が適切に公開されていると感じるか聞いたところ、「感じている」(10.3%)と「やや感じている」(20.6%)を合わせた『感じている(計)』(30.9%)は約3割となっている。一方、「あまり感じていない」(29.6%)と「感じていない」(8.0%)を合わせた『感じていない(計)』(37.6%)は4割近くとなっている。また、「どちらともいえない」(28.2%)は3割近くとなっている。



■ 施策要望・・・「防災対策」が5割

区の施策の中で、特に力を入れてほしいことを聞いたところ、「防災対策」(50.1%)が5割で最も高く、次いで「高齢者福祉」(37.4%)、「緑化推進」(31.5%)、「交通安全対策」と「休日診療」(ともに24.5%)などの順になっている。



大田区政に関する世論調査 概要版

平成 26 年 12 月発行

発行 大田区 区長政策室 区民の声課
東京都大田区蒲田五丁目 13 番 14 号
電話：03-5744-1135
FAX：03-5744-1504